

2021年10月27日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイグループホールディングス
(コード番号3063:東証マザーズ)
本社所在地 名古屋市中区栄三丁目4番28号
代 表 者 代表取締役 新田 二郎
問 合 せ 先 取締役副社長 林 芳郎
電 話 番 号 (052) 243-0026 (代表)
(URL <https://www.jgroup.jp/>)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時 2021年10月27日 16:00~17:00
開催方法 対面による実開催及びオンラインによるライブ配信開催
開催場所 東海東京証券株式会社 東京本社ホール
(東京都中央区日本橋二丁目5番1号 日本橋高島屋三井ビルディング30階)
説明会資料名 2022年2月期第2四半期決算説明資料

【添付資料】

決算説明会において使用した資料

以上



名神高速道路下り線大津サービスエリア

2022年2月期第2四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

(3063)

2021年10月27日



1. 連結決算概要

業績の概要	4
連結貸借対照表概要	5
種類株式の発行並びに資本金の額等の減少	6
店舗の営業状況	7
セグメント別業績概要	8
連結キャッシュ・フロー計算書概要	9
既存店収益状況	10
店舗数の推移	11

2. 今後の取り組み

今後の取り組み	13
『守りの取り組み』進捗状況	14
店舗ポートフォリオの改善	15
新規事業の開発	18
エリアマーケティングの推進	20
不動産の流動化	21
今期の業績見通し	22
株主還元について	23
店舗でのコロナ対策(参考資料)	24



1. 第2四半期 連結決算概要



売上高:1,409百万円、営業損失:1,050百万円、純損失:310百万円

昨年度不動産3件を売却した反動もあり、連結売上高は前年対比31.9%へ減少。飲食事業単体では緊急事態宣言などを受け各自治体からの休業・時短要請により前年対比売上高77.7%となる。

	2021年2月期 第2四半期		2022年2月期 第2四半期		前年同期比 (%)	
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)		
売上高	4,422	100.0	1,409 ①	100.0	31.9	① 昨年度不動産3件を売却した反動もあり、連結売上高は前年対比 31.9% へ減少。飲食事業単体では緊急事態宣言などを受け各自治体からの休業・時短要請により前年対比売上高 77.7% となる。
売上原価	2,276	51.5	593	42.1	26.0	
売上総利益	2,145	48.5	816	57.9	38.0	
販売管理費	2,497	56.5	1,866	132.4	74.7	
営業損失	△352	△ 8.0	△1,050	△ 74.5	-	② 不動産事業における長期借入金に付随する金利スワップ契約の評価損69百万円を計上。
営業外収益	128	2.9	92	6.6	72.0	
営業外費用	57	1.3	133 ②	9.5	231.3	③ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として実施した臨時休業に伴う時短要請協力金の助成金等1,517百万円特別利益の計上。ただし、一部未申請協力金358百万円は第3四半期計上予定。
経常損失	△280	△ 6.4	△1,091	△ 77.4	-	
特別利益	415	9.4	1,519 ③	107.8	366.1	
特別損失	1,250	28.3	834 ④	59.2	66.8	④ 感染症の拡大防止の取組として、店舗の臨時休業や営業時間短縮等の対応に起因する費用及び損失等752百万円を特別損失に計上。(コロナ特損)
税金等調整前 当期純損失	△1,116	△ 25.2	△406	△ 28.9	-	
親会社株主に帰属する 当期純損失	△1,376	△ 31.1	△310	△ 22.0	-	

連結貸借対照表概要



(百万円)	2021年2月期 期末	2022年2月期 第2四半期	(百万円)	2021年2月期 期末	2022年2月期 第2四半期
資産の部			負債の部		
流動資産	3,413	2,116	流動負債	3,210	3,099
現金及び預金	2,320	686	買掛金	49	77
売掛金	66	77	短期借入金 ※1	1,393	1,277
たな卸資産	163	150	その他	1,767	1,744
未収入金	649	1,018	固定負債	7,506	7,180
その他	213	183	長期借入金 ※2	6,142	5,875
固定資産	7,508	8,349	その他	1,364	1,304
有形固定資産	5,735	6,693	負債合計	10,717	10,280
建物及び構築物	2,568	2,627	純資産の部		
土地	2,858	3,759	株主資本	149	172
その他	308	306	資本金	1,594	50
無形固定資産	433	412	資本剰余金	1,518	3,397
投資その他の資産	1,339	1,244	利益剰余金	△2,887	△3,198
繰延資産	9	7	自己株式	△76	△76
資産合計	10,931	10,473	その他の包括利益累計額	△12	△51
			新株予約権	1	0
			非支配株主持分	75	71
			純資産合計	214	193
			負債純資産合計	10,931	10,473

※1：一年以内返済予定長期借入金を含む

※2：資本性劣後ローン9億円を含む

種類株式の発行並びに資本金の額等の減少



2021年5月27日開催しました定時株主総会において

①第三者割当による種類株式の発行、並びに

②資本金の額及び資本準備金の額の減少について決議し、5月31日に実行いたしました。

①第三者割当による種類株式の発行	
発行新株式数	種類株式300株
発行価額	1株につき1,000,000円
調達資金額	3億円

※加えて、同上の種類株式700株(7億円)募集事項の決定について取締役会へ委任することを決議しております。

②資本金の減少	
減少後の資本金	5千万円
減少後の資本準備金	0円

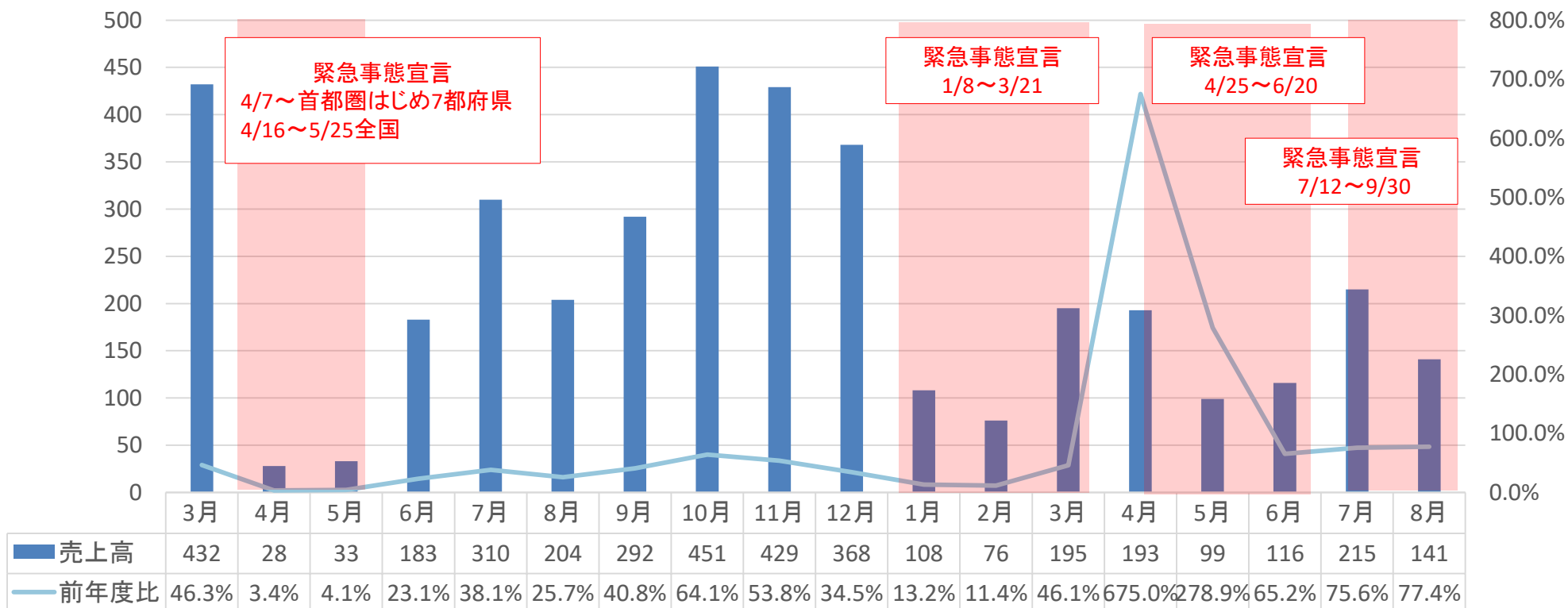
店舗の営業状況



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
総店舗数(直営)	142	143	143	143	137	137	130	130	126	126	127	126
通常営業店舗数	108	117	114	27	0	0	11	8	7	8	11	1
(通常営業店舗/総店舗)	76.1%	81.8%	79.7%	18.9%	0%	0%	8.5%	6.2%	5.6%	6.3%	8.6%	0.7%
営業短縮店舗数	7	6	3	51	41	29	81	33	26	68	68	32
休業店舗数	27	20	26	66	118	108	38	88	93	50	48	93

既存店売上高

(百万円)



※時短・休業店舗も含む

セグメント別業績概況



＜飲食事業＞

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、営業自粛要請により営業時間短縮、休業を行い、売上高は**前年対比77.7%**。

＜不動産事業＞

テナントビル「EXIT NISHIKI」や「JG金山」など賃貸収入が安定的な収益となるも、昨年度不動産3件を売却した反動により売上高20.7%へ減少。

＜ブライダル事業＞

婚礼施工組数や受注件数に一定の回復が見られるも新型コロナウイルス感染症の影響から婚礼施工前年同期比で売上高92.4%。

＜その他の事業＞

新型コロナウイルス感染症の影響で卸売関係の取扱高減少。

(百万円)

		2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年同期差額	前年同期比 (%)
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	1,460	1,134	△326	77.7
	営業利益	△1,023	△704	318	-
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	3,485	720	△2,765	20.7
	営業利益	1,127	69	△1,058	6.1
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	105	97	△8	92.4
	営業利益	△60	△24	35	-
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	92	49	△43	53.2
	営業利益	△17	△3	14	-
調整額	売上高	△721	△592	129	-
	営業利益	△378	△386	△8	-
合計	売上高	4,422	1,409	△3,013	31.9
	営業利益	△352	△1,050	△698	-

連結キャッシュ・フロー計算書概要

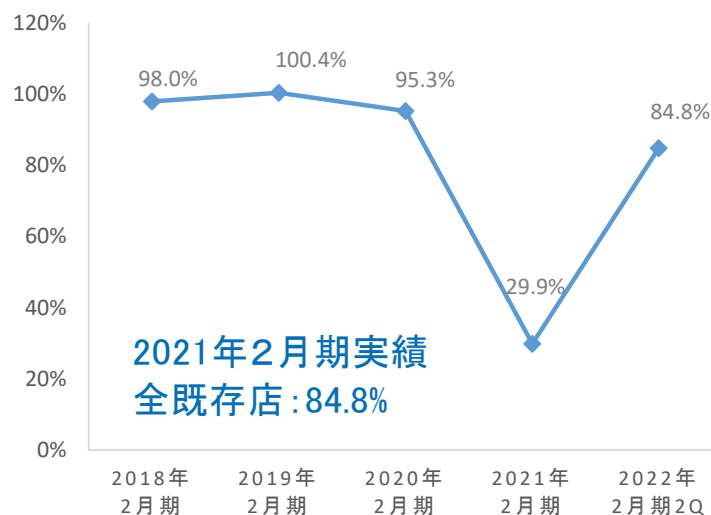


	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,076	△526	税金等調整前四半期純損失406百万円 減価償却費113百万円、減損損失18百万円、 のれん償却額17百万円、助成金収入△1,517百 万円、助成金の受取額1,114百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△596	△1,029	不動産事業における有形固定資産の取得及び 新規出店・リニューアルに伴う支出1,178百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,329	△81	短期借入金の減額51百万円、長期借入金による 収入103百万円、長期借入金返済による支出436 百万円 株式発行による収入334百万円
現金及び現金同等物の増減額	1,809	△1,635	
現金及び現金同等物の期首残高	909	2,313	
現金及び現金同等物の期末残高	2,718	677	

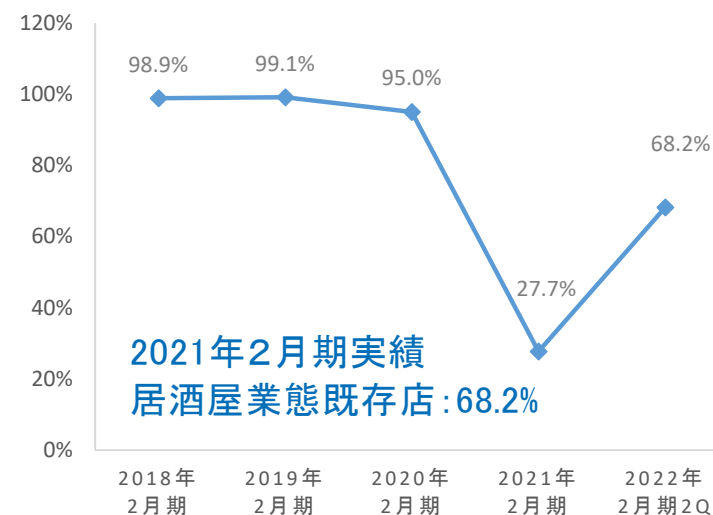
既存店収益状況



全既存店売上高の対前年同期比



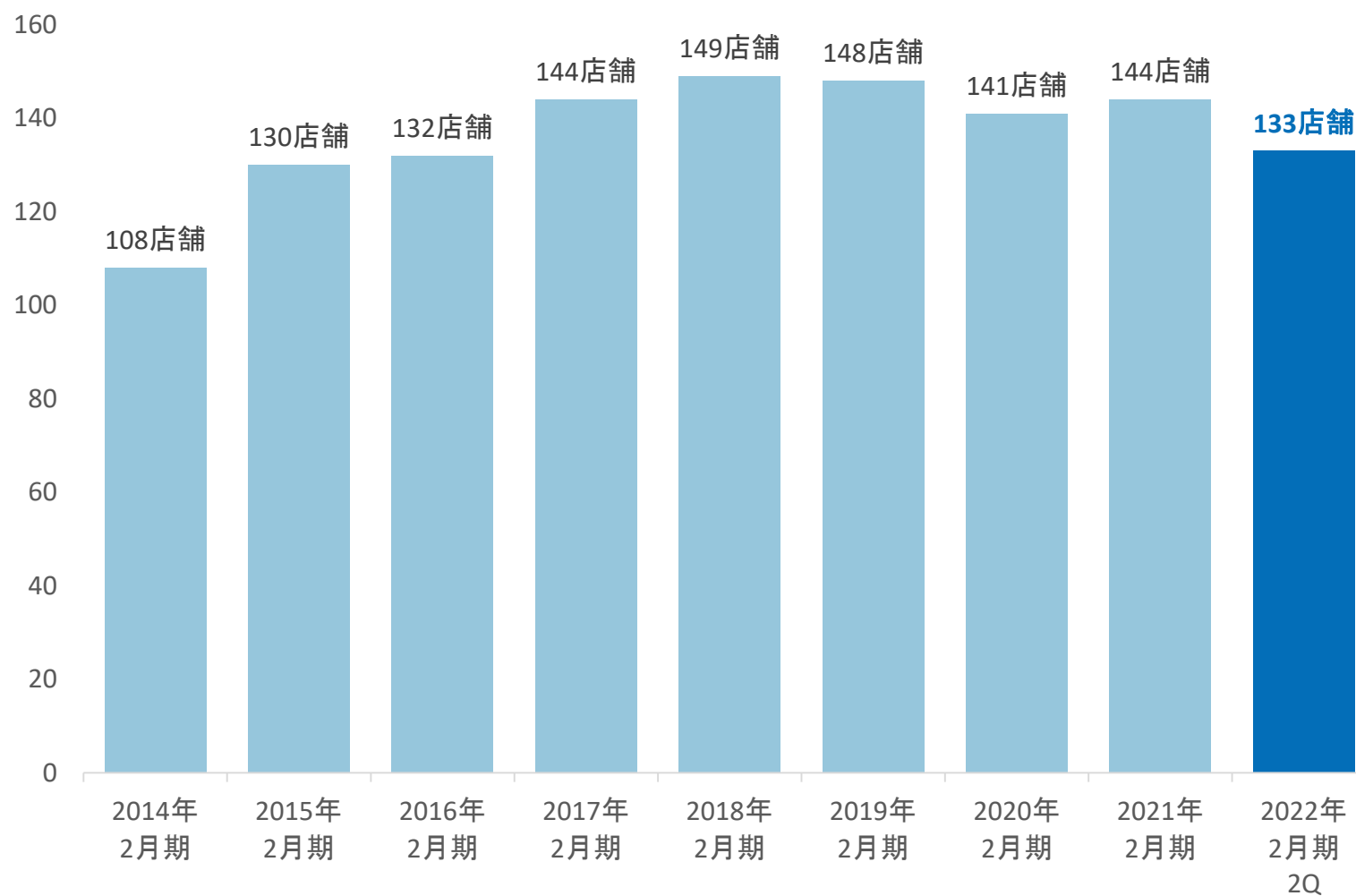
居酒屋業態既存店売上高の対前年同期比



		2020年				2021年		2021年2月期 実績	2021年						2022年2月期 第2四半期 実績
		9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	
居酒屋業態 90店舗 (8月末時点)	売上高前年同月比	38.7%	63.5%	51.3%	30.9%	8.7%	6.4%	27.7%	37.2%	689.1%	218.5%	47.1%	64.2%	63.5%	68.2%
	来店客数前年同月比	43.3%	67.8%	54.7%	32.8%	11.6%	11.9%	31.1%	43.2%	688.8%	445.0%	84.0%	89.8%	99.5%	96.4%
	客単価前年同月比	89.5%	93.6%	93.8%	94.0%	74.9%	53.4%	88.8%	86.1%	100.0%	49.1%	56.0%	71.6%	63.8%	70.8%
レストラン業態 6店舗 (8月末時点)	売上高前年同月比	42.7%	61.8%	61.8%	57.7%	35.6%	36.3%	37.6%	112.1%	593.1%	337.1%	128.4%	125.5%	127.0%	157.7%
	来店客数前年同月比	47.8%	74.0%	80.4%	61.4%	40.0%	42.8%	42.6%	118.3%	404.4%	296.1%	114.7%	124.8%	131.1%	151.9%
	客単価前年同月比	89.3%	83.5%	76.9%	93.9%	88.9%	84.7%	88.3%	94.7%	146.7%	113.9%	112.0%	100.5%	96.9%	103.8%
カフェ業態 8店舗 (8月末時点)	売上高前年同月比	66.9%	82.0%	78.5%	59.2%	45.3%	53.4%	49.7%	78.2%	781.1%	543.8%	118.0%	109.4%	86.6%	129.2%
	来店客数前年同月比	64.2%	94.9%	92.5%	64.6%	49.3%	55.6%	53.9%	81.0%	817.4%	579.3%	126.3%	116.3%	84.4%	134.8%
	客単価前年同月比	104.2%	86.4%	84.8%	91.7%	92.0%	96.0%	92.2%	96.6%	95.6%	93.9%	93.4%	94.1%	102.6%	95.8%

※既存店基準: 開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

2022年2月期第2四半期時点で
新規出店5店舗・リニューアル10店舗・退店16店舗となり
74業態、133店舗体制となる





2. 今後の取り組み

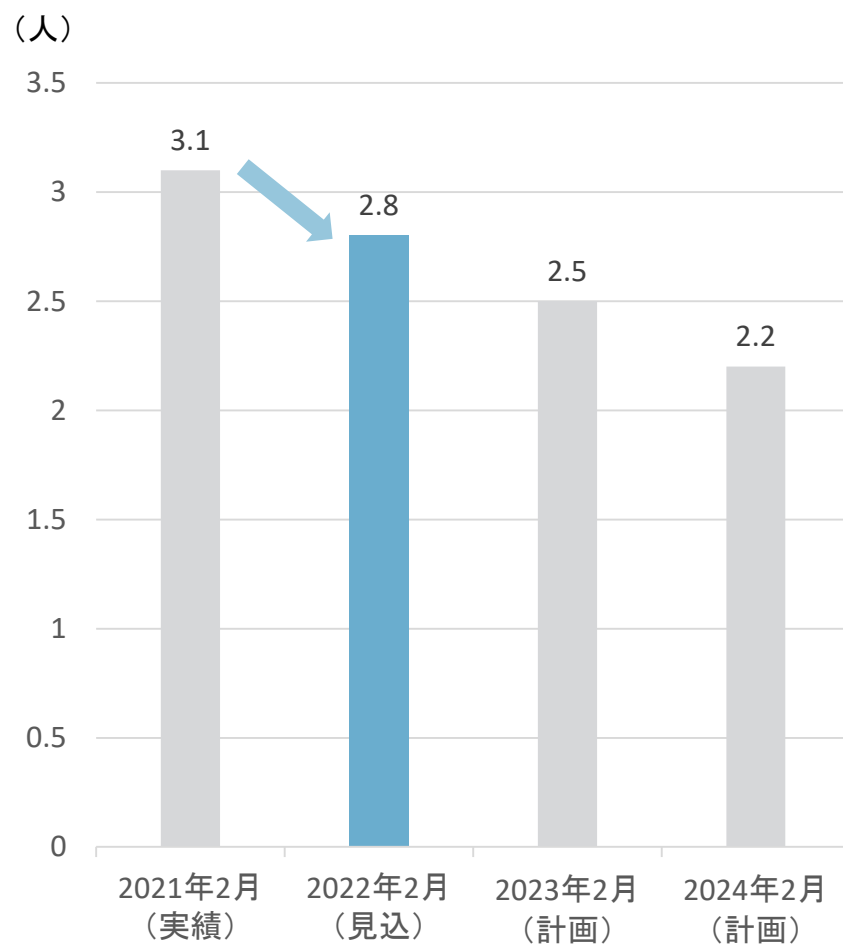


方針	重点施策
経営基盤の強化へ 『守りの取り組み』	<ul style="list-style-type: none">◆ 店舗運営コストの改善◆ 本社経費の削減
コロナ禍以降の売上確保へ 『攻めの取り組み』	<ul style="list-style-type: none">◆ 店舗ポートフォリオの改善◆ 新規事業の開発◆ エリアマーケティングの推進

店舗運営コストの改善

正社員数の削減 (2020年2月期 対 2024年2月期)

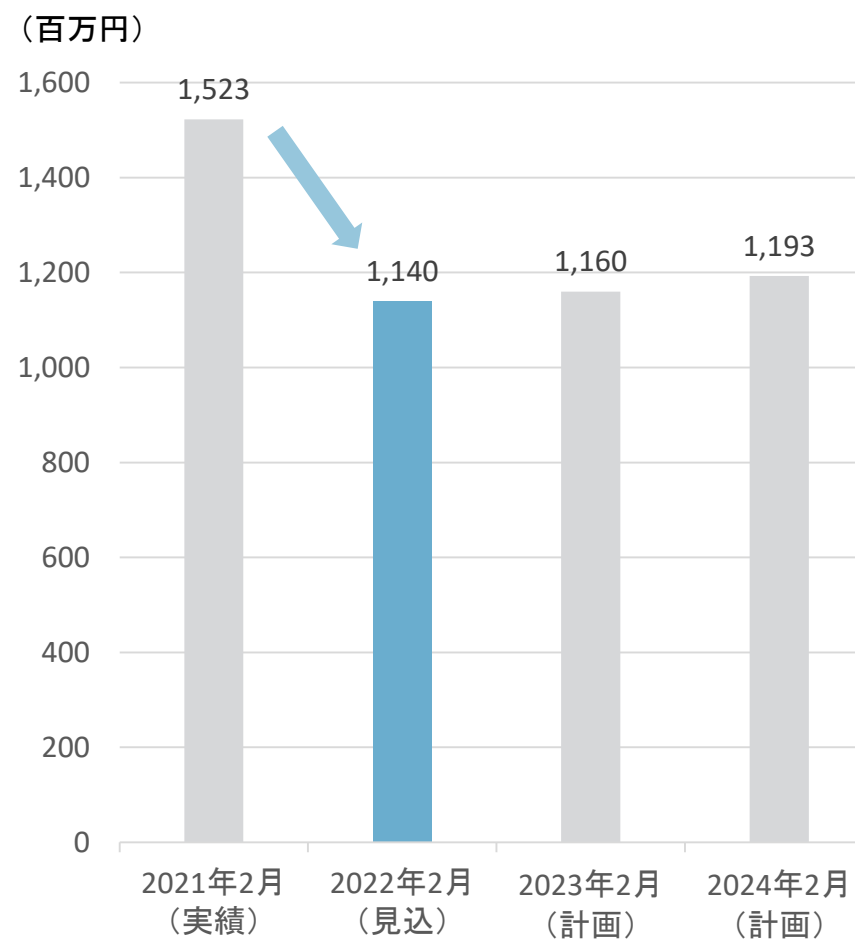
- ✓ 1店舗当たりの社員数削減3.1名/店→2.3名/店
- ✓ 採用抑制による社員数の自然減



本社経費の削減

諸経費の削減 (2020年2月期 対 2024年2月期)

- ✓ 間接部門人員削減 1.4億円/年
- ✓ 2024年度(対2020年度比)利益貢献3.3億円想定



認識する課題

- 売上の大部分を占めていた宴会がアフターコロナも完全に回復することは厳しい
- ビジネス街での利用機会の低下
- 大人数の飲み会から親しい友人・家族など少人数での日常使いをいかに取り込むか

今後の店舗展開のキーワード

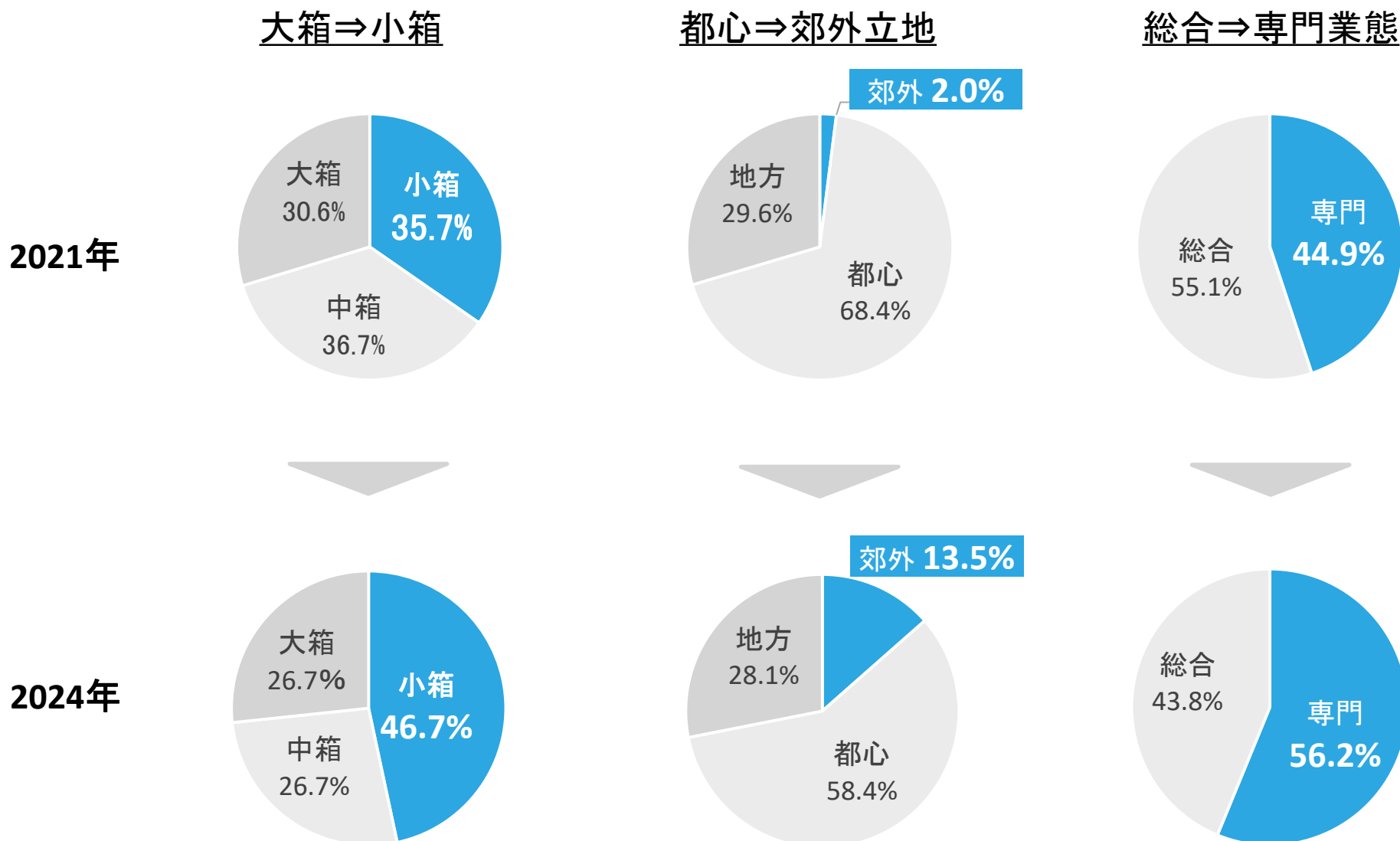
小型店舗	郊外店舗	専門業態
✓ 脱大宴会依存	✓ 住宅街での日常使い需要に対応	✓ 脱総合居酒屋
✓ 友人・家族ら少人数での利用	✓ 繁華街より安価な家賃	✓ 脱酒類業態
✓ 投資効率の向上		✓ 目的来店促進

アフターコロナに対応するため戦略的に新店・リニューアル・閉店を実施

店舗ポートフォリオの改善



中長期的に店舗ポートフォリオの見直しを行い、収益性改善を図る



※60坪以上は大箱、40～60坪は中箱、40坪未満は小箱とした。都心は東京都/名古屋市の商業地域、郊外は左記の住宅立地、地方はその他(主に地方都市)と定義。
 郊外の例: 名古屋市 地下鉄東山線沿線(池下～藤が丘)、大曾根等、東京都 JR中央線沿線(中野、吉祥寺)、武蔵小杉、町田等

総合居酒屋から専門性の高い業態

ほかの居酒屋から、7分おきで
きばくもん
KIBAKUMON
ほかから、飲み・焼き餃子
きじょうもん
KIJOMON



マツロ・光蔵
ハバ
光蔵
マツロ・日本酒専門
吟醸マツロ



大阪王将
OSAKA OHSHO



若者向けの業態

サーモンパンチ



寿司と串とわたくし

SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI



メジアイキック



ブランド業態のFCビジネス



アスナル金山店
2021年6月4日オープン



黒川店
2021年8月31日オープン
大津SA店
2021年11月1日オープン

- ✓ 認知度の高いブランド食事業態FCを開始
- ✓ 住宅地・郊外を中心に今後展開

高速道路SA事業へ参入



名神高速道路下り線大津SA
2021年10月1日運営開始

- ✓ 名神高速道路下り線大津SAの一括運営
- ✓ フードコート・レストラン・テイクアウト・土産ショップを展開

新規事業の開発



ゴーストレストラン

- ✓ 2020年12月より49店舗43業態を展開
- ✓ 21年3月-8月 売上69百万円(実績)
21年3月-22年2月 売上135百万円(見込)



業務受託・派遣業の開始

- ✓ 2021年3月 子会社として株式会社ジェイキャストを設立
- ✓ 野球部員を中心に外食企業・介護サービス業・娯楽サービス企業へ52名派遣 4.6百万円/月



物販

- ✓ 博多かわ屋物販

EC直販(21年3月-8月) 売上4.2百万円(実績)
催事(マルイ溝口・新宿高島屋) 売上5.2百万円(実績)



- ✓ コンビニ販売

博多かわ屋 スナック菓子
3月~6月ローソンにて全国販売
サーモンパンチ 3種(パスタ・サンドウィッチ・おにぎり)
11月末コンビニ大手にて発売(予定)

エリアマーケティングの推進

同一エリアに多業態をドミナント展開している強みを最大限活かし、顧客の店舗間の回遊・囲い込みを図る

飲み放題サブスク

- ✓ 顧客回遊の促進のため飲み放題サブスクによるリピート顧客の獲得
- ✓ 名駅・栄・金山を中心に施策を実施、東京圏へ展開拡大予定

CRMの推進

- ✓ SNS(LINE等)やアプリを使用したCRMの推進を実施
- ✓ 顧客を店舗に呼び込む情報発信、サービスの提供

保有する商業ビル・レジデンスを流動化及び有効活用を進める

保有不動産



J-Group 本社・新九



ジェイテル名駅



EXIT NISHIKI



JG金山



ジュール則武

年月	売買	不動産
2019年2月	売却	J-Growth 大曾根
2020年1月	売却	G-SEVENS 刈谷
2020年7月	売却	ダイヤモンドウェイ
2020年7月	売却	物流センター
2020年7月	売却	ジュール広川
2021年4月	取得	J-Group本社ビル
2021年9月	売却	ジュール亀島

今期の業績見通し



業績予想について

新型コロナウイルスの影響の見通しが立たず、業績予想数値について合理的な算出が困難であることから、未定とさせていただきます。

(百万円)

	2021年2月期 通期実績	2022年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	6,700	未定	—
営業利益	△1,543	未定	—
経常利益	△1,465	未定	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△2,352	未定	—
配当金 ※	中間 1.5円 期末 無配	中間 無配 期末 未定	

※2022年2月期の配当につきましては、新型コロナウイルスの影響が現時点では先が見えず、合理的な配当予想の判断が困難なことから、現時点におきましては未定とします。

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、
より多くの皆様に事業への一層のご理解をいただくことを目的とし、
株主優待制度は引き続き実施いたします。

また、株主様のご利用機会確保のため2021年10月31日を有効期限とする
株主優待券を4ヶ月延長し2022年2月28日までとさせていただきます。


所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分(1,000円券×8枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分(1,000円券×12枚)を年2回

代替商品のご案内

- 4,000円コース
猿Cafeブレンド
カタログギフトA
- 8,000円コース
黒豚さつまセット
カタログギフトB
- 12,000円コース
黒豚さつま豪華セット
カタログギフトC



がんばろう 日本!
私たちが「安全・安心・おもてなし」で
頑張ります!
株式会社ジェイプロジェクト一同



当店はスタッフの
マスク着用を義務化
しております



出勤前の検温も
義務化しております

当店はお客様に
消毒をお願いしております



当店は
吸排気ダクトによる
換気を徹底しております



当店は全てのテーブル、
椅子などの除菌を
徹底しております



【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL:052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や

債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。